

児童・生徒数推計及び想定値について

NO	氏名	御意見
1	猪狩 京子	<p>今期より参加させていただき、青少年補導員の猪狩京子です。よろしくお願いたします。</p> <p>今まで補導員の活動をしながら、おたかの森地区・南流山地区の児童・生徒の増加が激しいことは感じていました。補導員として新しく学校が増えると登下校の見守りや危険箇所のチェックをパトロール時に行ってきました。増加していく学校がある反面、減少していく学校もあり少し先の状況も薄々は感じていました。生徒数推計や想定値がわかり良かったと思います。</p> <p>補導員の立場から考えると、現在、補導員の皆さんはやや高齢化が進んでいます。長年パトロールしていただいています。新しく補導員になる方は多くありません。学校でPTA活動が縮小されているようで、校外活動にはあまり積極的ではない学校もあります。生徒数の増減も頭に置き、補導員の数を増やす努力をしなければなりません。特におたかの森地区や南流山地区は学区の境も複雑かと思えます。学区をまたぎ担当地区を超えパトロールをしていく必要があると感じました。</p>
2	長谷部 年春	<p>推計は大変難しいと思われま。事務局に一任いたします。</p>
3	小林 常男	<p>北部地区小学校の空き普通教室が半数近くに達しており、地域を絡めて何か活用できる対応をお願い致します。</p> <p>東洋一の物流施設が完成し、稼働しているが、周辺地域に西深井小学校・新川小学校の通学路があります。</p> <p>特に、この地区は、農道で道幅が狭く歩道が整備されておらず、道の両側に雑草が繁茂し、垣根も道に延びて、通行に、支障をきたす箇所も見られます。</p> <p>新川モータース地先の十字路交差点は信号機も無く、坂道でもあり、物流倉庫への車の通行量も多く、非常に危険な箇所である。事故が起きてからでは遅いので通学路の再点検をお願いいたします。</p>
4	小島 秀代	<p>資料を拝読させていただきました。意見・質問はございません。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
5	宮本 信一	<p>八木南小、鱈ヶ崎小、常盤松中について、今後の推移に注視しつつ対応しなければならないと思います。他は特にございません。</p>
6	松島 留美	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙2について 算定値についての誤差は少ないが、想定値の最大を上回る学校が多く、それに対応が必要な場合の想定される対処方法をご提示いただきたい。 ・特別支援学級について 普通学級に比べて人数の増減で必要教室数が大きく変わる可能性があるため注視されたい。 流山市はインクルーシブ教育に重点を置くこととされていることから、特支への対応も積極的に行われると期待している。そのうえで児童数が減少している学校でも、特別支援児童については人数が増加している場合が多く見受けられる。過去のデータを参照いただき、安易に児童数の減少と特支の減少を重ねて考えるのは問題ではないか。 ・別紙3について 使用可能教室とあるが、学童や他団体が現在使用中で実際には空いていない教室は含まれていないのかどうか確認していただきたい。 すでに教室が足りていない学校への対応が間に合っているのかどうか教えていただきたい。 ・通学経路の安全面・安全対策などは合同点検資料で確認しているが、実際の事故が起きている箇所や件数など通学区と照らし合わせた資料をいただきたい。学区を地図で線引きしたような資料・通学距離ごとの児童比率などわかる資料などをご提示いただくと、さらに改善点などみつけやすくなるのではないかと。 ・保育園に関して市で運営する送迎ステーションがあるが、小学生でも使える送迎ステーションの導入を検討してみてもどうか。 ・昨今の夏の暑さと通学路について 通学時間に熱中症警戒アラートが出ている場合の学校の対策対応を教えてください。 夏場だけでもスクールバスなどの対応が今後必要なのか検討いただきたい。 ・三郷橋開通に関して 柏・三郷線を横断するよりも県道を横断するリスクが少ないと感じ、対応人数も多くないことから流山北小・おおくろの森小または南部中・おおくろの森中を選択可能にするなど、交通量に対しての何らかの対策を検討してはどうか。
7	峰松 拓毅	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年9月19日の審議会資料として提示されていた、小学校区域・中学校区域マップを最新化して頂きたい。 https://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/1027721/1009688/1009692.html ・どこの区域（町名）の児童数・生徒数が多いのか視覚的に分かり易いように、人口分布メッシュマップを作成して頂きたい。（学区区域を変更することで対応可能か確認し易くするため、小学校区域・中学校区域マップに記載されている町名を最新化して頂いた上で、その単位で識別して頂けると有難い） ・別紙3について、別紙2を踏まえ、教室が足りているのか、将来的に足りない見込みなのか、視覚的に分かり易いように、色分けして頂きたい。その上で、小山小学校は教室数が現状不足しており、昨年度の審議会の議事録では「令和7年度は、校舎の改修を検討しています」との記載があるが、検討の進捗について教えてください。また、同じ中部地区に位置する常盤松中学校・おたかの森中学校・おおくろの森中学校の教室数は将来不足することが想定されるが、現状予定されている対策があれば教えてください。 ・通学区を調べる際に、主要道路等交通状況や、指定通学路、通学路合同点検結果等も参考になると思うが、それらも審議会資料として開示して頂けると有難い。 ・白井市にて「通学路安全対策」としては千葉県内初の事例として、スクールバスを令和6年度から導入することがニュースで取り上げられていた。流山市でも、令和2年度第1回審議会にて、「通学バスの可否についても、様々な御意見や他市事例などを参考にしながら、調査研究し、検討していきたいと考えています。」との回答がされているが、その後の検討状況について教えてください。

児童・生徒数推計及び想定値について

NO	氏名	御意見
8	林 修司	意見なし
9	小泉 勲	1、令和5年度におおたかの森小学校から分離し、市野谷小学校が開校する事になりますが、おおたかの森小学校から何名程度行くことになりますか。 2、市野谷小学校が開校しても「市野谷地区社会福祉協議会」の設立は、むずかしいと思っています。おおたかの森地区社会福祉協議会で対応していかなければならないと考えていますが、理事会・評議員会で検討して、出来る限り協力をしていきます。登下校時の見守りを地域としてどう対応していくかそろそろ検討しなければならないと思っています。
10	石井 孝浩	資料ありがとうございます。 ・南流山中学校の移転後の普通教室として使用可能な教室数はどうなっていますか。 ・南流山第二小学校と市野谷小学校の普通教室としての使用可能な予定数もお願い致します。
11	龍田 進	意見なし
12	宮原 京子	令和6年度に南流山第二小学校と市野谷小学校が開校する事にとっても安堵している。 おおぐろの森小学校の児童数が令和5年度4月1日現在の714名から、令和11年度の想定値が2倍の1,450人に増える事に驚いた。教室数は足りるのかと懸念される。 小山小学校は令和8年度児童数1,758人59学級でピークを迎えその後緩やかに減少すると見込んでいるが一時的に40人学級になるが35人、38人学級に比べ先生の負担が大きくなるのではと考える。サポート教員等対策はすると思うが懸念される。
13	長岡 みつ江	特にありません。